令和3年度　SSH 交流会支援事業「SDGs×Diversity！」開催（R3.12.27）

本校では、令和２年度より、「SDGｓ×Diversity！」と題して県下の高校生から発表者を募り、課題研究発表会を行っています。令和３年度は、参加してくださったみなさんのおかげで、課題研究発表会と生徒交流会にとどまらない、進化した魅力的な発表会になりました。

この会は、日頃各校で取り組んでいる課題研究の発表の機会とするとともに、**他校の高校生**と交流することで生まれた新たな学びや気づきを、各自の研究に活かすことを目的としています。また**他校からも実行委員の生徒を募る**ことで、研究以外の面でも主体的で深い学びにつなげています。加えて、**教員研修会を開催する**ことで指導力・評価力向上も目指します。

おかげさまで、参加していただいた皆さんから好評をいただき、令和４年度も開催予定です（要項は６月上旬発表予定）。**ぜひ中学生のみなさんや自治体や地元企業のみなさんも参加、ご見学ください。**（お問い合わせは、本校 SSH 研究推進部）

●参加生徒の増加　　令和２年度 55 名（参加校６校）→令和３年度 68 名（参加校６校）

●生徒実行委員　　藤島高校　３名
武生東高校　19 名
武生高校　　11 名
実行委員会は計６回実施、第１回～第５回は Meet で実施。
第６回は武生高校にて対面で実施。

【実行委員会の内容】

第１回　SDGｓの概要
第２回　探究学習の意義
第３回　評価について①モデレーション
第４回　評価について②どんな評価基準がよいか
第５回　ファシリテーションについて
第６回　当日の準備

探究の成果を確認する発表会のみならず、そこに行き着くまでの探究の過程を振り返り、その意味を捉え直す活動であると、外部識者から講評をいただきました。

第２回生徒実行委員会の様子

第４回生徒実行委員会の演習内容
（Jam board）

● 当日の概要　　１２月２７日（月）　武生高校にて開催

当日の運営は全て学校間を越え活動してきた生徒実行委員が行いました。

開会挨拶・生徒実行委員会報告
ポスター発表・講評
生徒交流会①/教員研修会①
昼食
口頭発表等の準備
口頭発表・講評
生徒交流会②/教員研修会②
全体会（振り返り）

生徒実行委員会報告

生徒交流会①のテーマは「課題研究の喜怒哀楽」、生徒交流会②のテーマは「この研究のここがすごい！」として、生徒全員参加で行いました。ファシリテーターは生徒実行委員が行いました。また、生徒交流会と並行して教員研修会を行いました。講師は仁愛大学准教授・織田暁子先生（人文社会系）、仁愛大学教授・西出和彦先生（自然科学系）にお願いし、課題研究に関わる高校教員に参加していただき好評を得ました。

生徒交流会①

教員研修会①

４　指導・助言　　福井大学　教授　　米沢　晋　先生
仁愛大学　教授　　西出　和彦　先生
福井大学　准教授　遠藤　貴広　先生
仁愛大学　准教授　織田　暁子　先生
京都大谷大学　非常勤講師
ストスコバ　ガリーナ　フリストバ先生

５　発表部門・方法　　Ａ部門　自然科学系
Ｂ部門　人文社会系
Ｃ部門　ＳＤＧｓ（地域・企業連携）系
（ア）口頭発表･･･5 分程度　質疑応答 2 分　　１０本
＊英語での発表　２本含む
（イ）ポスター発表･･･5 分程度　質疑応答 2 分　８本
＊生徒と教員のポスター発表　２本含む

ポスター発表

口頭発表の様子　葵講堂

口頭発表における質疑応答

口頭発表の様子　英語の発表

生徒交流会②

生徒交流会②　全体での共有